

29年度 日本の大学データ

日本の大学数は 764 大学 2,307 学部 5,146 学科

旺文社 教育情報センター 平成 29 年 6 月 26 日

日本にはいくつの大学があるのだろうか。学部・学科の数は、また、もっとも多く学べる学問分野は何なのか。本記事では、日本の大学の基本データともいえるそれらをまとめた。

●日本には 764 大学あり、そのうち約 8 割が私立大学

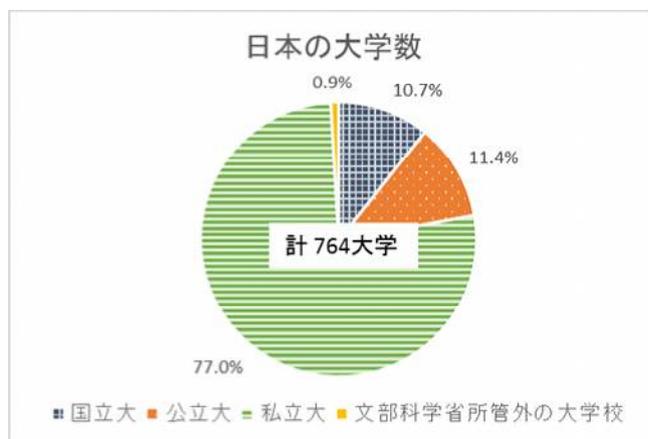
29 年度（4 月時点。以下、同）の日本の大学数は 764 大学。これはこの年（29 年）の 4 月入学者の学生募集を行なった大学だ。

日本の大学数という極めて基本的な数値は、実はあまり知られていない。文部科学省の「学校基本調査」でも毎年見ることができるが、これは日本に「存在する大学数」。つまり、募集停止をした大学や統合した大学でも、2～4 年生が在籍しているなど、大学として残っているうちはカウントされる。大学院しか持たない大学院大学も含まれる。

たとえば前年度で見ると（本年度はまだ「学校基本調査」が発表されていないため）、「学校基本調査=777 大学」に対し、「学生募集を行なった大学=759 大学」となる。しばしば日本の高等教育の規模について議論がなされるが、その場合、この「学生募集を行なっている大学」を日本の大学数と見るべきだろう。

一方で、防衛医科大学校や国立看護大学校など、文部科学省所管外（以下、所管外）の大学校のうち、学士の学位がとれるところについては、大学同様と判断し、数に含めた。

下の円グラフは、その内訳を表したものだ。私立大が全体の約 8 割を占めていることがわかる。国立大と公立大はほぼ同じ割合で、それぞれ約 1 割に過ぎない。圧倒的に私立大の数が多いことがわかる。

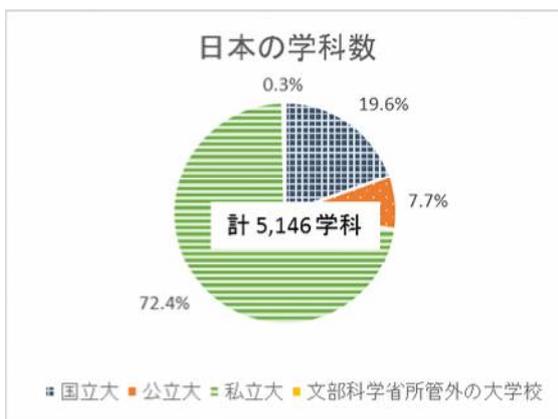
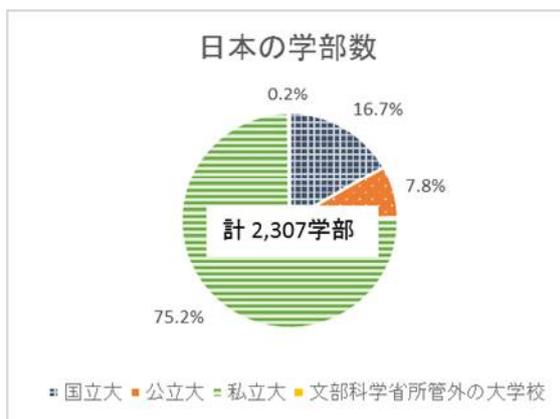


◆本記事では以下のものを日本の大学数としてカウント。

- ・国立大・・・82 大学
- ・公立大・・・87 大学
- ・私立大・・・588 大学
 - └ うち通信制のみ・・・6 大学
 - └ うち株式会社立・・・3 大学
- ・文部科学省所管外の大学校で学士の学位がとれるもの・・・7 大学校

※以下のものは含まない。
新設認可申請中の大学、募集停止をした大学、大学院大学

●学部の約8割、学科の約7割が私立大学



上の円グラフは、全国にある学部・学科（学域・学類など、学部・学科に類するものを含む）の数と、その学校種別の割合を表している。

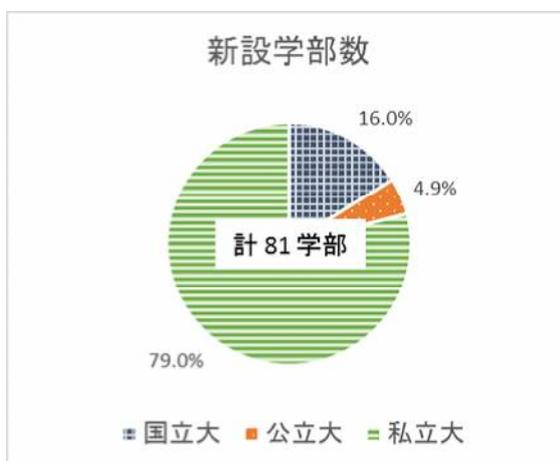
学部数は、国立大 386 学部、公立大 181 学部、私立大 1,736 学部、所管外 4 学部で、学科数は、国立大 1,009 学科、公立大 396 学科、私立大 3,725 学科、所管外 16 学科。計 2,307 学部、5,146 学科が存在しているが、学部ではその約 8 割、学科では約 7 割が私立大であることが見てとれる。

なお、大学数における割合と比較すると、学部・学科数では、国立大は割合が高く、一方、公立大は割合が低い。これは、国立大には総合大学が多く、一大学の学部・学科数が多いが、看護大学を中心として単科大学が多い公立大では、一大学あたりの学部・学科数が少ないためだ。

●新設学科の約3割は国立大学

ここまでは、全国のすべての大学・学部・学科について述べてきた。このうち今年度の新設（29年4月開設）の大学・学部・学科について見てみよう。

※ここでの新設とは、認可申請・設置届出・名称変更を指す。名称が変わっていれば新設としてカウント、変わっていなければ、認可申請・設置届出をしていてもカウントしていない。



新設大学は7大学で、すべて私立大。ちなみに、これとは別に、私立大→公立大に移行した大学が1大学（長野大）、募集停止をした大学はなかった。新設学部は、国立大13学部、公立大4学部、私立大64学部、の計81学部、新設学科は、国立大57学科、公立大13学科、私立大124学科となる（所管外は新設なし）。

注目したいのは国立大の割合だ。前項のとおり、既設も含めた国立大の全学科数は全体の約2割だが、新設の学科数を見てみると、国立大の割合はそのうち約3割になっている。

28年度に引き続き、29年度も国立大の大規模改組が相次いだ。新設学科数における国立大の割合が高くなっている原因としては、この大規模改組が大きい。なお、この改組の詳細については、『蜚雪時代 8月臨時増刊（2016年7月刊行）』の「2017年国公立大学大改組！」をご覧ください。

●もっとも多いのは「経営学・経営情報学・商学・会計学」分野

次に、日本の大学で学べる学問分野について見ていこう。29年4月時点で全国にあるすべての学科を旺文社分類の70の学問分野に分類し、多いほうから並べたのが下の表だ。

学問分野	学科数	学問分野	学科数	学問分野	学科数
1 経営学・経営情報学・商学・会計学	466	25 栄養学	125	49 家政・生活科学	55
2 社会学・観光学・メディア学	325	26 政治学	122	50 美術	52
3 語学	324	27 生物学・生命科学	121	51 住居学	47
4 医療・保健学	309	28 中学校課程	119	52 応用物理学	42
5 国際関係学・国際文化学	294	28 環境科学分野／その他	117	53 地学	41
6 情報工学	290	30 薬学	110	54 教養学	39
7 看護学	266	31 特別支援教育課程	105	55 航空・宇宙工学	38
8 小学校・幼稚園課程	265	32 土木工学	102	55 農業経済学	38
9 経済学	252	33 食物学	98	57 水産学	36
10 心理学	243	34 人間科学分野／人文系その他	97	58 畜産学・動物学	35
11 文学	242	35 哲学	92	59 工芸	33
12 文化学	230	36 生物工学	91	60 農業工学	32
13 機械工学	212	37 医学	82	60 被服学	32
14 福祉学	206	38 物理学	80	62 養護教諭課程	31
15 電気・電子工学	202	39 農芸化学	77	62 経営工学・管理工学	31
16 児童学・子ども学	177	40 農学	76	64 歯学	29
17 芸術系その他(CG等含む)	174	41 教育学	72	65 森林科学	27
18 体育・健康科学	173	42 材料工学	71	66 船舶・海洋工学・商船学	18
19 法学	161	43 化学	69	67 資源工学	17
20 建築学	149	44 医用・生体工学	66	68 獣医学	16
21 数学・情報科学	147	45 総合科学	60	69 原子力工学	11
22 史学・地理学	135	45 生物生産・生物資源学	60	70 教育支援等その他	9
22 デザイン	135	45 音楽	60		
24 応用化学	132	48 画像・光工学分野／その他	57		

※学科が複数の分野に分類できる場合は、それぞれの分野でカウント（重複してカウント）した（記事中の他の表も同様）。

もっとも多いのは「経営学・経営情報学・商学・会計学」分野だ。「経済学」分野も上位10分野に入っている。都市部や地方を問わず、全国各地で企業経営を支える実学という理由はもちろんのこと、学科の設置にあたり、理系学科のように設備投資がかからないこと、国際経営学科や経営情報学科など、時代に応じて細分化していったこと、かつての経営系の女子短大が共学4年制化したことなども挙げられよう。

次いで学べる学科数が多いのは「社会学・観光学・メディア学」分野。近年の外国人観光客の増加に加え、32年の東京オリンピック・パラリンピックを控え、ますます関心が高まっている観光学分野や、国の地方創生・地域活性化の流れを受けた地域発展系の学科、また、複雑化する現代社会における諸問題解決のスキルを身につける現代社会学科といった学科が、近年、多く見られるようになった。上位10分野中、3分野を除くすべてが文系の学問分野となった。

理系では、いまや生活に欠かせないコンピュータ、ネットワークに関連するさまざまな技術を学ぶ「情報工学」分野、そして、資格取得率が高く、将来に直結する医療系のなかから、「医療・保健学」分野と「看護学」分野が上位に入った。

●国立大は理系、公立・私立大は文系の学部が上位

国立大学		
	学問分野	学科数
1	情報工学	82
2	機械工学	76
3	電気・電子工学	72
4	応用化学	65
5	数学・情報科学	60
6	小学校・幼稚園課程	55
7	中学校課程	52
8	土木工学	50
9	経済学	47
10	特別支援教育課程	46
10	材料工学	46

公立大学		
	学問分野	学科数
1	看護学	48
2	経営学・経営情報学・商学・会計学	37
3	情報工学	32
4	国際関係学・国際文化学	27
5	医療・保健学	26
6	文化学	23
6	経済学	23
8	語学	22
9	福祉学	21
9	デザイン	21

私立大学		
	学問分野	学科数
1	経営学・経営情報学・商学・会計学	388
2	語学	277
3	社会学・観光学・メディア学	266
4	医療・保健学	252
5	国際関係学・国際文化学	236
6	小学校・幼稚園課程	206
7	文学	202
7	心理学	202
9	経済学	182
10	福祉学	180

上の表では、全国の学科を分類した上でさらに国公立大別にし、それぞれの上位 10 分野を掲載した。

国立大に関しては、工学系の学問分野が上位を占め、理系が多数ランクインしている。また、文系では、教育・教員養成系の学問分野が多いことがわかる。全体でもっとも多い「経営学・経営情報学・商学・会計学」分野は、国立大のみ上位 10 分野に入っていない。

公立大には「看護学」分野がもっとも多く、「医療・保健学」分野も上位に入ってきている。地域貢献は国公立を問わず、すべての大学に課せられたテーマではあるが、特に公立大にとっては直接的な課題だ。そのなかでも医療を担う人材の育成は、地域からのニーズが高く、大学側にとっても、貢献度合いが目に見えやすい。公立 87 大学中、「看護学」単科の大学は 11 大学、「医療・保健学」とあわせて、いずれか、または両方が学べる大学は 50 大学にもものぼる。

私立大は「経営学・経営情報学・商学・会計学」「文学」「経済学」といった伝統的に多い分野のほか、現在の、あるいはかつての「学科新設ブーム」を色濃く反映している。現在のトレンドは「語学」「国際関係学・国際文化学」の国際系だ。